



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区 三
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

2011年 司教年頭挨拶 『信仰生涯学習・元年』に！

ともに学び、祝い、生き、伝える家庭共同体



主イエス・キリストからの恵みと平和が、新しい年も皆様の上に豊かにありますように。

二年間の取り組みに感謝

福岡教区民は二年間「司教召命の育成」を最優先課題として全力で取り組みました。その自覚と意識は大きく変容しました。まさに、この自覚と意識が教区を動かす原動力になります。その成果はこれから必ず実りとなって現れるはずで、全教区民のご尽力

に心から敬意と感謝を申し上げます。

二年間の総括 司教団

昨年は、『司教召命の特効薬が、現場で活躍している司教自身の輝きと魅力の中にあることを自覚し、司教が自分の使命と役割に誠実に向かい、司教らしい生活と役割のあり方に前向きに取り組む、自分の司教職のアイデンティティを深め、高め、広げ、豊かにし、司教としての専門的な資質を向上させること』を目指しました。その具体的な取り組みとして、「司教の老後の家」の建設が始まりました。同時に、司教の健康管理のための医療・食事・休暇・経済などの制度の検討も着手しました。司教の役割としての教区組織（役務担当）も見直しているところです。

二年間の総括 信徒・修道者

信徒も修道者もそれぞれ派遣された場所や役割の中で、召命育成のために様々な事柄に誠心誠意取り組んで下さいました。その具体的な取り組みは枚挙に暇がない程です。

世界平和の日教皇メッセージ

～平和への道としての信教の自由～

教皇ベネディクト16世は、2011年元旦、「信教の自由、平和への道」をテーマに、全世界に向けて教皇メッセージを公表された。これは15章から構成されている。教皇は特にならぬが、暴力を脅かす中東から、イスラエルとパレスチナ、世界は制限されている。その根拠は、おのづから、信者たち、市民、理解を拒否し、皇は、平和構築、両親、自分、性をもった、と述べている。基本的権利、自らの自由、中示を教表、何れも、つを常に念頭に置きながら、その中でも、今年最初の『キリストの救いの秘儀を知りたい』ということに焦点を絞りたいと思います。私たちは知らないものや分からないものに心を惹かれませぬし、望む

「信教の自由、平和への道」をテーマに、全世界に向けて教皇メッセージを公表された。これは15章から構成されている。教皇は特にならぬが、暴力を脅かす中東から、イスラエルとパレスチナ、世界は制限されている。その根拠は、おのづから、信者たち、市民、理解を拒否し、皇は、平和構築、両親、自分、性をもった、と述べている。基本的権利、自らの自由、中示を教表、何れも、つを常に念頭に置きながら、その中でも、今年最初の『キリストの救いの秘儀を知りたい』ということに焦点を絞りたいと思います。私たちは知らないものや分からないものに心を惹かれませぬし、望む

1月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】創造された世界の豊かさ
【宣教】キリスト者の一致
【日本の教会】日本社会における人権の擁護

他方、そのための充分な熱意はありながら、何から手を着ければ良いのか戸惑いと困難を感じていたのも正直なところかも知れません。

しかし、その戸惑いと困難は、実は、何を取り組んでもいずれも召命につながっていることの裏返しです。青少年の信仰養成、家庭の聖化、典礼の涵養と美化、福祉活動や社会奉仕など、これら総てが「召命の育成」につながります。つまり、大切なことは、どんな事柄でも構いませんが、その取り組みが一年や二年で終わるのではなく、継続して恒常的に続けられることです。とりわけ福岡教区にあって「司教召命の育成」が緊急かつ重大な課題であることに変わりはありません。今年も引き続きこの課題に取り組んでまいりましょう。

今年の日目標

新しい年の福岡教区の優先課題は、冒頭にある通り、「救いの秘儀を①知り（信仰生涯学習）、②追体験し（典礼祭儀の充実）、③生き（家庭と社会生活での実践）、④伝える（福音化）」です。このテーマはキリスト信者としての本来の営みであり、信仰の真髄です。しかも、この4つの要素がバランス良く組み込まれることが大事であり、その4つを常に念頭に置きながら、その中でも、今年最初の『キリストの救いの秘儀を知りたい』ということに焦点を絞りたいと思います。私たちは知らないものや分からないものに心を惹かれませぬし、望む

時評

上大川 富士男

他人の目を気にして行動する狡猾な人には、公徳心の欠けが見られる。見ていないとなれば、ごみを所かまわず無責任に捨てる、落書きはする、世界遺産という宝物に傷をつけた。教会にあって、他人に目立つように祈るような人には、つける薬がない。善行を誇大に見せようと見栄をはる行為には、鼻もちなならない

偽りの影が映る。中国に「四知」という話がある。狡猾な商人が、有能な心正しい官吏に賄賂を持ちかけた。私とあなただけがこのことを知っているが、あなたが喋らず私が沈黙していればこのことは誰にも分からない。だから大丈夫だと嘘す。しかし、正しい官吏は賄賂を拒否し続けた。狡猾な商人は執拗に賄賂を贈ろうとしていたが、正しい官吏は言う「誰も知らないことはない。我と汝が知っている上、天と地が知っている」と。私たちもともにいて下さる父なる神がそばにいて下さることを忘れてはならない。それ故、自己欺瞞は許されぬ。神を蔑ろにして隠し通せるものは何もない。3度も「知らない」と否んだベトロ口でさえ、主の愛に抱かれたことに気づき、泣き崩れた。愛は、魂を激しく揺り動かし、人の心の底から生き返らせる。私たちも心を新たに、古く殻を破り捨て、主に近づこう。「主よ、どうぞ、あなたの恵みを胸に、真直ぐな道を歩ませて下さい。門出にふさわしい感謝と祈りを捧げ、あなたに従う者を祝福してください。」 戸畑教会信徒

か？ どのような条件と方法で子どもへの信仰伝達が可能なのか？ などの疑問に向き合う必要に迫られています。家庭の実態と現状を把握するためにも、可能な限り、主任司教は小教区内の「家庭訪問」に挑戦してみてください。具体的な家庭の状況把握から、生きた信仰伝達のヒントも示唆されると思います。

最後に

今年一年間、教区民が一丸となって「キリストの救いの秘儀を学ぶ」と「キリスト者の家庭の現実に向き合う」ことに取り組んでいきたいと思います。そして、来る11月23日（水）「勤労感謝の日」を「一教区の日」として、全教区民が司教座聖堂（大名町教会）に集まり、各教会での一年間の取り組みの総括と報告を実施することになります。聖母マリアは日常生活という平凡さの中で、救いの営みを学び、黙想し、それを自分ものにした。私たちの母である聖母マリアのお取り次ぎを通して、「救いの秘儀の核心」に近づくことが出来るように励みましょう。

今年一年間、教区民が一丸となって「キリストの救いの秘儀を学ぶ」と「キリスト者の家庭の現実に向き合う」ことに取り組んでいきたいと思います。そして、来る11月23日（水）「勤労感謝の日」を「一教区の日」として、全教区民が司教座聖堂（大名町教会）に集まり、各教会での一年間の取り組みの総括と報告を実施することになります。聖母マリアは日常生活という平凡さの中で、救いの営みを学び、黙想し、それを自分ものにした。私たちの母である聖母マリアのお取り次ぎを通して、「救いの秘儀の核心」に近づくことが出来るように励みましょう。



かつて多くのカトリックの家庭では、夕食後に必ず「ソザリオヤ」「公教会祈禱文」で祈りが捧げられていた。しかし、今ではどうだろう。夕の祈りどころか、食前食後の祈りを唱えない家庭も多い。それは時代だ、と言って片づけられるものではない。確かに2・30年前と現代とは私たちが取り巻く社会は、大きく変わった。家庭も子どもたちの日常も。しかしだからと言って、祈りはしなくともよいというにはならない。私たちは新しい祈り方を学ぶ必要があるかもしれない。司教協議会が新しい「聖母マリアへの祈り」を発表した。現行の「聖母マリアへの祈り」は、17年にわたり使用され浸透してきたが、一方では聖書の言葉に基づき、祈りの前半部分について、聖書に忠実に訳してほしいとの要望が寄せられたことが改訂の動機となった。このように、確かに現行の祈りはその意味で多くの人々が不備を感じてきた。しかし祈りが変わっていくことに戸惑いを覚える信徒は多いのではないだろうか。病人訪問しているとき、90歳近い婦人に、「祈りは新しくなったよ、それを唱えよう」と言うとき、何か別の宗教になったかのような気がする」と言った。また長い間、教会を離れている方が、久しぶりに教会に来られ、昔の「主の祈り」しか唱えられなかったため、「疎外感を感じた」とも語った。祈りの言葉をふさわしい訳に変えることも必要であろう。しかし、次の世代に「祈ること」をこそ伝えなければならないと思う。



おめでとうございます！

教区長 宮原良治司教
福岡地区 松井忠之
教区本部 山下正
司教館付 田川清美

留学 田中重治
助祭 伊東成晃
大塚了平
谷口尚志

糸島 竹内英次
今村 岩崎康彦
大楠 中村信哉
大牟田・荒尾 下町豊重

小郡 H・オカロー
久留米 浦川務
古賀 三村邦明
P・ジュード

笹丘 遠山満
浄水通 S・リチャード
大名町 櫻井尚明

高宮 十時伸治
戸村悦夫

福音書を読み、主日の説教を準備していると、最近ふと思ひます。その後どうなつたかなということ。

例えば、ザアカイさんの話では、「主よ、わたしは財産なくとも2倍でもいいのでは

なんて思わなかつたかな？どうだろう。そして、それをしているのが私たちではないかな？と。ゆるしの秘跡や年の

黙想の際、決心を立てるがその後どうだったかな？と。また、重い皮膚病を患っている10人がイエスさまに懇願

し、イエスさまの言葉に信頼して祭司のところに行く途中で癒され、それに気づきま

す。感謝するために戻ってきたのは、サマリア人だった1人だった場面(ルカ17章11

19)でも、残りの9人は、「祭司のところで見えていた、だ

茶山 片岡哲夫
西新 山田成章
箱崎 G・ミッシェル
光丘 川上惣一

二日市 平田三好
本郷 島山七郎
老司 D・アルビン
吉塚 硫黄隆二

院長 増井啓
副院長 Br葉袋勝士
外川直見

院長 高木善行
Q・ベルナル
湯浅俊治

院長 熊川幸徳
日本カトリック神学院福岡キャンパス

院長 明石健次
嘉松宏樹
中村吾郎

院長 永富久雄
Br小川孝志
Br田中直

院長 Br阿部光一
御受難修道会 来住英俊
院長 染野治雄

院長 鈴木忠一
内山恵介
B・ガブリエル

院長 山頭原太郎
J・サントス
美野島司牧センター

院長 M・コース
臨床パストラルケア教育研修センター W・キツベス

院長 Br床嶋藤吾
北九州地区 飯塚 堤敏雄

院長 黒崎・天神町 G・ブルーニ
小倉 山元真
C・ピーター(協力)

院長 永富久雄
Br小川孝志
Br田中直

院長 Br阿部光一
御受難修道会 来住英俊

院長 染野治雄
鈴木忠一
内山恵介

院長 B・ガブリエル
山頭原太郎
J・サントス

院長 M・コース
臨床パストラルケア教育研修センター W・キツベス

院長 Br床嶋藤吾
北九州地区 飯塚 堤敏雄

院長 黒崎・天神町 G・ブルーニ
小倉 山元真
C・ピーター(協力)

院長 新田原 杉原寛信
直方・田川 寺浜亮司

院長 戸畑 中村彰
水巻 竹森勇

院長 井手公平
湯川 深堀勝人
L・ペリオン

院長 若松 鶴野泰年
パリ外国宣教会北九州支部

院長 M・レヌー
伊万里 C・ガツザルディ

院長 P・スタン
唐津 L・マネルバ
鹿島・武雄

院長 佐賀 平田敬
多賀 A・テムペリーニ
鳥栖 F・マツケイ

院長 浦俊雄
呼子 堤好治
トラピスチンチャブレン

院長 C・スメット
熊本地区 川添猛

院長 最頼巖流
菊池 青木悟
健軍 渡辺隆義

院長 本渡 渡辺隆義
島崎 D・マルケット
F・ロベス

院長 手取 牧山勝美
D・ウユイ(協力)

院長 玉名 D・マルケット
M・オフアレル

院長 E・ホルガン
F・レナト
夫津木昇

院長 八代 夫津木昇
真命山・霊性交流センター

院長 F・ソットコロノラ
S・ダニエーレ

院長 佐賀 平田敬
多賀 A・テムペリーニ
鳥栖 F・マツケイ

院長 浦俊雄
呼子 堤好治
トラピスチンチャブレン

院長 C・スメット
熊本地区 川添猛
最頼巖流



その後、あなたは？

『アヴェ・マリアの祈り』について
『アヴェ・マリアのいのり』(試用版)
アヴェ・マリア、恵みに満ちた方、主はあなたとともにおられます。

2010年度長崎教区管区セミナー長崎に400人
担当司祭川口清神父(大浦)
教区と、地域から集まる人々の担当司祭川口敏神父

スープの会
今年もホームレス支援をすすめます
2月から3月の2週目まで毎週日曜

日記帳二重帳簿になっっている
千両万両小さな庭に朱を入れる
坂牧春妙
深堀正平

草苑
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092-526-5656

ミサ用ワイン
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店

神の前で生と死を考える集い
①3月12日(土)16時~13日(日)15時 指導:来住英俊神父(御受難会)
②6月25日(土)17時~26日(日)15時 指導:シスター高木慶子(援助修道会)
③9月10日(土)16時~11日(日)15時 指導:来住英俊神父(御受難会)



フォンダシオ講演会に参加して



飛び交う中、熱心な分かち合いが行われた。青年達が各々、素晴らしいタレントを神様から頂いており、生かしていることを実感する充実した時間となった。

11月28日(日)カテドラルでFondacio(フォンダシオ)のミッシヨナリーとして活動している青年の平尾千衣子さん(大阪教区)、チャールズ氏(マレーシア人)、フランソワ氏(フランス人)の3人を迎え、講演会が開催された。

講演会後、福岡の青年有志たちがささやかな夕食を準備し、分かち合いを含めた懇親会が行われた。その中でチャールズ氏が「福岡地区青年会にはフォンダシオの様な生きている共同体が既に在

エキユメニズム委員会から



皆様、あけましておめでとうございます。箱崎カトリック教会の主任司祭、ミシェル(Michel Girard)です。

「求めず外の世界に柔軟に...」と言われたことが印象的であった。絶えず外の世界に柔軟に「求めず」とすでに私達共同体の中にある芽を「育てていくこと」この両方を大切にしながら主の道を歩んでいきたいと決意を新たにしたい企画であった。(深堀由布子)

また言語や文化の相違がある中にも神様に向かって信託・真に歩みたいと望んでいる人生のヴィジョンが共通していることを深く感じた。

昨年7月から、宮原司教様の指示によって、福岡教区のエキユメニズム担当司祭になりました。よろしくお願います。私のこと、また「エキユメニズム」のことを、少しでも紹介させていただきます。私は、1994年にカナダ

福岡市民クリスマスにハレルヤコーラスで参加



今年で63回目となる福岡市民クリスマスは、今年も市民クラブ、カトリック教会、プロテスタント教会、イスラム教、仏教、神道教、道教、儒教、キリスト教、その他様々な宗教の信者が一堂に集まり、心を通わせ、共に喜びを分かち合いました。

福岡市民クリスマスは、今年も市民クラブ、カトリック教会、プロテスタント教会、イスラム教、仏教、神道教、道教、儒教、キリスト教、その他様々な宗教の信者が一堂に集まり、心を通わせ、共に喜びを分かち合いました。そして、喜び集う人たちが一堂に会した会場で、プロテスタント「ハレルヤ、ハレルヤ」と声高らかに神を賛美したひと何ものにも代えがたい至福の時でした。ハレルヤに続き、本田路津子さんのクリスマスソング。御子を私たちにくださった神さまの愛が心にしみ込んで来て、会場はあたたかくやわらかな光に包まれた感じのよう平和な安らぎと喜びに満たされました。そして待ち待った晴佐久神父様の登場。神父様からのお話は、私たちが愛したくてあなたを生んだ。恐れるな。大丈夫だ。私はいつもあなたとともにいてあなたを守り、と大も苦しみを担い、あなたを生かし、導いている。私を信じなさい。その「大丈夫」が形になってこの世にお生まれになったのがイエスさま。今年はよりいっそう深い感謝と喜びをもってクリスマスをお祝いします。(鈴木直美)

おげんきですか!



2010年の秋から、教皇庁立サレジオ大学の「若者の司牧とカテケジス」学科の2

年目に入りました。毎日、住んでいるコレジオ(宿舎)から大学まで、徒歩・地下鉄とバスを乗り継ぎ、往復3時間の通学をこなしています。通学で色んな体験をしています。特に大学に行く時、地下鉄からバスに乗り換えるのですが、バスは始発ではありません。このバスがいつ来るのか分かりません。時刻表がないんです。お目当てのバスがやってくると、辺りは騒然。われ先にバスに乗り込み、場所の確保が始まります。バスのドアが開くと、いつも人を押しつけて空いている席にまっしぐらの人

がいます。同じ大学に通うシスターです。バスの中では、突然大きな声で話し出す人がたくさんいます。イタリアでは日本と違い、公共交通機関や公共の場でも通話ができるため、日本のように、バスに乗ったとたん脇目もふらずに携帯を見つめてかちかちメールやネットをするのとは光景が違います。ともかく電話なのに大声でけんかしてみたり、必ず身振り手振りも入るし、いまだに慣れない部分もあります。バス停を発車して少し離れた所でバスが止まった間に、このバスに乗りたいた人が近づ

から日本に来て、日本語を勉強した後、ほとんど福岡教区で勤めています。聖ドミニコ修道会に所属しており、出来る限り日本の教会の信者たちと共に、福音宣教のために働きたいと思っています。「エキユメニズム」とは、ご存知と思いますが、わたしたちキリスト教の諸教会の一

致を目指し、推進することです。それは、第二バチカン公会議の希望と喜びの中で、信徒使徒職の再評価と同じように、これからの教会の一つの大事な課題だと思っています。すでに、色々な方法で、様々なレベルで、カトリック教会とプロテスタントの諸教会はお互いに受け入れ、協力しています。教区報で、またこのことについて皆さんと分かち合いたいと思います。



今年の中にも、出来れば他の地区のためにも、このようなチームの役割や可能性について、それぞれの地区の司祭と信徒の方々と相談するつもりです。そこで勿論、皆さんのご経験やご意見などを大切にしたいと思っています。関心ある人はおられますか? どうぞ、私の方までご連絡ください。(092-511-3867)。留守の時、必ず留守番電話にメッセージをお願いします。住所 〓 812-0054 福岡市東区馬出4-1-8-21 カトリック箱崎教会

☆今、キリストを証しする 聖書講座シリーズ8 税定価 1470円

☆幸いの書 神さまからの50のラブレター 晴佐久昌英 著 税定価 1575円

Advertisement for 'Foot Japan Smile' (脚ジャパン・スマイルか) featuring a cartoon character and contact information.

Advertisement for FPC (福岡プライマリケア訪問看護ステーション) providing home care services.

Advertisement for 'Moriyama Construction' (森山工務店) offering general construction services.

Advertisement for 'Sent-Paul' (セント・ポール) featuring a globe and contact information.



